

2022年

11月号

11月4日

洋友会 大東地区だより



発行

令和4年

第245号

三洋電機洋友会大東地区

発行責任者 伊井 勤

編集責任者 中山 良夫

◇ 令和4年度全国地区会長会議のご報告

ここ2年はコロナ禍によりオンライン会議での開催となっていましたが今年は10月26日（水）に3年ぶりの対面会議として開催されました。今会長会議では、本部提案議題と各地区の今期活動について状況報告が行われましたのでその内容についてご報告いたします。

1. 開催日時：10月26日（水） 10時～14時30分
2. 開催場所：新大阪トヨタビル9F（アットビジネスセンター）
3. 出席者：本部幹事（7名）と全国14地区会長（岐阜地区は欠席）
4. 会議議題と会議内容

（1）小林会長挨拶

コロナ第7波も落ち着き3年ぶりに対面の会長会議が開催できた。会員の高齢化、コロナ禍により各種行事やクラブ活動の参加者が減少している。外出が減り家に閉じこもりがちになると体調不良や認知症になりやすくなる。会員が家族や友人と楽しく過ごしていただくための支援として保養施設やレジャー施設の紹介にも力を入れていきたい。

（2）会議議題

①「こくみん共済慶弔制度」の紹介

団体の構成員全員で加入し、加入者や家族の慶弔に際して、共済金を支払う制度。

②郵便物発送手配の業務委託の紹介

③洋友会35周年企画について

会報誌「洋友」の記念号の発行

地区での取り組み

上記議題は地区ごとの取り組みとなるため大東地区役員会で検討していきます。

④各地区（14地区）の活動状況報告

14地区からコロナ禍における活動状況、地区定期総会開催の有無などについて報告がありましたので概要を報告します

・令和4年度地区定期総会開催について

13地区において今年度の総会は中止となりました。京滋地区では懇親会も合わせて開催、群馬地区においては定期総会のみで弁当とお土産の持ち帰りとなりました。

・各種行事、クラブ活動、地区だよりの発行について

コロナの感染は今年も続いているものの第7波では全国的な行動制限もなくなり、ウィズコロナでの行動様式も定着しつつあるため、行事・クラブ活動の実施状況は地区ごと、時期ごと、クラブごとに様々となっています。

屋外スポーツのゴルフ、パークゴルフなどは感染対策を講じながら全地区で開催をされています。旅行や懇親会はほとんど中止となり、屋外行事の歩こう会等については実施と中止がほぼ半々となっています。また、大東地区でも再開した完歩チャレンジキャンペーンは数地区で実施しております。屋内で行うクラブ（囲碁、カラオケ、麻雀、水彩画等）についてはまだ中止が多いものの、再開するところが増えてきています。地区だよりについては、ほとんどの地区で毎月発行されておられます。

今後は、ウィズコロナと役員の高齢化、会員の高齢化などにより行事、諸活動に支障をきたすことも多くなると予想されます。この問題は、全地区に共通するものであり活動活性化会議の中で検討されることとなります。

④洋友会会員向けサービスの説明

- ・三井住友信託ビジネスアドバンテージサービスの案内
入会金・年会費無料で旅行・レジャーの会員制優遇サービス利用可能
ゴールドカードの年会費が3年間無料
ライフプラン相談サービス
- ・パナソニックホームズ 「住まいの特典」

詳細は地区だより10月号「洋友秋号」に同封のパンフレットをご覧のうえご利用をご検討ください。

(会長 伊井)

◇第20回洋友会水彩画教室展が開催されました



3年ぶりの展示会となった「第20回水彩画教室展」は10月14日(金)～19日(水)の6日間「守口文化センター」3階ギャラリーで開催されました。

この3年間、コロナ感染の影響で日ごろの絵画活動がままならず、今回の出展参加者は10名となりましたが、各人の絵画サイズが大型化(10号)し一人4～5点の出品で、合計44点がギャラリーいっぱい展示されました。又「人物画」「静物」「風景画」など多彩な内容となり見ごたえのある展示会でした。初日のオープニングに先立ち定森先生から、作品一点づつ講評いただき今後の活動へのアドバイスをいただきました。

た。

(玄関前案内板)

開催期間中は天候に恵まれ、200名を超える来場者が熱心に作品を鑑賞いただきました。



(定森先生から講評を受ける会員)

(多くの来場者に作品を鑑賞いただきました)

(記：水原 勲)

◇11月開催 第72回歩こう会のご案内(再案内と補足)

☆水景園(けいはんな記念公園内)を歩きます

目的地の水景園(けいはんな記念公園内)には様々な経路から集合いただき公園内を散策するというこれまでの歩こう会の行事内容とは少し異なりウィズコロナの一つの方法として企画しました。久しぶりの歩こう会となりますが、奮ってご参加ください。

天候状況を確認して前日18:00めどに開催可否を、ホームページ掲載、メール連絡します。また担当幹事に問合せ下さい。昼食を公園内で摂られる場合は近鉄学研奈良登美ヶ丘駅やJR祝園駅・近鉄新祝園駅周辺のコンビニやスーパー、公園隣のMEGA ドン・キホーテ、マクドナルド等で購入下さい。水景園内のカフェは日曜日のみで利用できません。



(当日出席幹事)

浅尾 元明 090-9628-2319

米元 則幸 090-6247-4967

伊井 勤 090-5254-4052

— 2 —

(榎本 隆夫 090-6320-0118 当日出席は未定)

日時： 11月16日(水) 雨天予備11月18日(金)

10:30 水景園出入口 集合

12:00 水景園観月楼 解散

場所： 水景園(けいはんな記念公園内)

水景園入園料200円は60歳以上の年齢証明提示で無料となります。

洋友会大東地区ホームページ新着記事・お知らせでも案内しております。

<当日予定>

10:30 水景園出入口 集合(以下園内周遊)

ビジターセンター→森の出入り口→山棚田→さえずり小道→みはらし坂→おおきの谷
→こもればの道→令法(りょうぶ)の谷→ハンゲショウの湿地→水辺の小道→カキノ
キ峠→森の出入り口→竹林→観月楼

(水景園から芽吹き森 周遊 約1.5時間の予定)

12:00 観月楼集合 解散(歩こう会行事としては終了)

解散後は紅葉の谷を見ながら昼食や園内散策などご自由にお過ごし下さい。

近くには国立国会図書館 関西館(但し16日は休館)もあります。

尚、アクセス手段等詳細案内は、地区だより10月号やホームページをご確認ください。

(担当 榎本)

◇2022年度完歩チャレンジキャンペーン参加状況の報告

☆完歩チャレンジキャンペーンの途中参加も歓迎いたします

9月1日よりスタートした完歩チャレンジキャンペーンは季節もよくなり皆様順調に歩いておられることと思います。10月21日時点では途中からの追加申込や中級から上級へのランクアップもあり上級4名、中級25名、初級35名、計64名と多くの会員の方のご参加をいただいております。

この完歩チャレンジキャンペーンは皆様がお住まいの身近な近隣を毎日歩いていただくために目安の距離目標、1日の基準歩数など山陽道(西国街道)を例として設定したものです。歩数計を活用いただき健康を意識して毎日歩きましょう。但しコロナ感染や熱中症には十分にご注意いただくようお願いいたします。

尚、キャンペーンの参加申し込みは8月末で締め切りましたが、令和5年3月末が完歩最終報告の期限としており、まだ申込をされていない方も途中からの参加も十分可能ですので奮ってのご参加をお願いします。

目標達成者には総会の議案書で氏名掲載と記念品を贈呈いたします。是非途中からでもご参加ください。

(担当 榎本)

◇町めぐり探訪記紹介

☆山口一彦さんが「和歌山県湯浅」を紹介します

コロナ禍もようやく落ち着き始めましたので、先日、久々に妻の実家がある和歌山県湯浅町に帰りました。妻が子供の頃の賑わいからは少し寂しくなったというものの、歴史を感じる街並みと自然に加え、いつ訪れても海の幸・山の幸が豊富で美味しく、今回皆様に紹介させていただきます。



湯浅は紀伊水道の波穏やかな入り江に天然の良港として漁業が栄えました。その地形や立地も相まって古くより回船の寄港地や物流の拠点として、また、熊野三山へと続く熊野古道が町の南北を貫き、「古道歩きの宿場」としても栄えた町です。



— 3 —

皆さんが湯浅と聞いて真っ先に思い浮かべるのはやはり醤油と金山寺味噌ではないでしょうか。醤油発祥の地ともいわれ、通称「伝建地区」には醤油醸造の老舗「角長」や昔ながらの製法で金山寺味噌を手仕込みしている「太田久助吟製」などの白壁土蔵や町家が建ち並び、何ともレトロな風景が楽しめます。

醤油の起源は、鎌倉時代に中国に渡り修行を積んだ禅僧が伝えた特別な味噌に始まり、味噌の桶に溜まった汁に湯浅の人々が工夫を重ね生まれたのが現在の醤油であるといわれています。かつて92軒あった醸造業者も今では町内で数軒残るのみとなったようですが、伝統的な製法は今も脈々と受け継がれています。

JR湯浅駅から少し海側に向かい熊野古道にあたる通りを北上すると、熊野巡礼をする人々の道しるべとなった「道町の立石道標」や江戸時代から昭和の終わりまで営業していた風呂屋を改修した資料館「甚風呂」など往時の賑わいを感じられる興味深い場所に出会います。



歴史的な見どころだけではありません。

有田みかんや荒川の桃は勿論、県下トップの水揚量を誇る「しらす」は1年を通して水揚げされ、釜揚げしらす、生しらすを提供する店は町のあちこちにあります。

伝建地区にひっそりと店構えしている おけき（焼き餅）も素朴な味わいでお勧めです。（午前中に売り切れてしまうこともあるので要注意ですが）そして意外なことに、町の郊外には田舎に似つかわないカフェやベーカリーが点在し、いつ来ても新しい発見があるのが驚きです。



その他にも興味のある方には是非訪れていただきたい施設に「稲むらの火の館」があります。安政の大地震津波時、「稲むらの火」で多くの村人を救った濱口梧陵の功績と精神を現代に広く語り継ぐために建てられた記念館で、いずれ来るといわれる東南海地震に備え、わかりやすく防災意識を高める工夫がされています。

決して観光地というわけではありませんが、電車でも車でも大阪から2時間ほどで来れ、日帰りで十分楽しめる所ですので、時間がありましたら是非訪れてみていただきたいと思います。

（記：山口一彦）

◇地区行事・活動報告

<水彩画教室> (担当 平野幹事)

1. 10月度 活動報告

(1)日 時：①10月 4日(火) 野外スケッチ『長居公園植物園』

※好天に恵まれ複数のグループでスケッチを楽しみました。

②10月25日(火) 野外スケッチ『旧中西家住宅 (江戸期大庄屋屋敷)』

☆3年振りに第20回水彩画教室展を開催

日 時：10月14日(金)～19日(水)の6日間、10:00～16:00

(2)会 場：守口文化センター 3階ギャラリー

※期間中の来場者は200名を超え、次回に向けて創作意欲が高まる展示会でした。

2. 11月度 活動予定

(1)日 時：①11月11日(金) 風景写真をモチーフに制作『A』

②11月25日(金) 風景写真をモチーフに制作『B』

— 4 —

(2)会 場：パナソニック守口橋波ビル (京阪西三荘駅すぐ)

<園芸同好会> (担当 平野幹事)

1. 10月度 活動報告

会員間でオンラインによる情報共有を図りながら、それぞれが園芸作業のレベルアップに取り組みました。

2. 11月度～来年2月度 活動予定

対面での情報交換会の開催を含め、会員間の情報共有を活発に行い、園芸活動のレベルアップに取り組んでいくことを考えております。

<カラオケクラブ> (担当 浅尾幹事)

今月(10月)よりカラオケクラブ3例会ともに活動を再開しました。A例会では、新しいメンバーが参加、15名となりひとり5曲、時間を延長しての6時間の例会となりました。C例会では、テーマソング「ふくみの唄」(池内淑雅さん作詞作曲)が出来上がり池内さんから曲が披露されました。そして参加者に楽譜と専門家による演奏を録音したCD版が配られました。メンバーには来月の例会始めに全員で歌うための宿題となりました。

A例会 10月20日(木) 参加者15名 会場：レインボー住道店

B例会 10月 4日(火) 参加者8名 会場：カラオケ九重

C例会 10月17日(月) 参加者9名 会場：和風パブふくみ



A例会



B例会

<囲碁クラブ> (担当 米元幹事)

1. 10月度活動報告

1) 定例対局 4名参加

2) 今年度も後半に入り今後の活動を討議しました。

① 来年度の活動スケジュールについて

② 大阪地区との交流対局について

大東囲碁クラブの定例対局に統一することにしました。(段級位制から点数制に変更)

③ 活動補助金の活用について

④ ネット碁「呼びかけの碁」に参加を検討

10月28日開催

大東囲碁クラブの定例対局に大阪地区の人達も参加することにしました。

2. 11月度の活動予定

1) 11月11日(第2金曜日) 定例対局

2) 11月25日(第4金曜日) 定例対局

◇企業スポーツの近況報告

10月度のパナソニックスポーツクラブの近況を報告します。

練習、見学、日程、試合結果などの詳細は、各HP(ホームページ)を確認ください。



(1) 社会人野球

第47回社会人野球日本選手権大会が10月30日より京セラドーム大阪で開催されます。

日程は以下の通りです。会場は地元ですので応援をお願いします。

1回戦	11月2日(水)	18:00	対	セガサミー
2回戦	11月4日(金)	18:00	未定	
3回戦	11月7日(月)	9:00	未定	

— 5 —

準決勝 11月8日(火) 14:00 未定

決勝 11月9日(水) 18:00 未定



(2) バレーボール<パンサーズ>

10月22日からVリーグレギュラーラウンドが始まり好調なスタートを切りました。

10月22日(土) 対 東京グレートベアーズ 3 — 0 ○

10月23日(日) 対 東京グレートベアーズ 3 — 0 ○

次節以降は、東レアローズ(29、30日)、大分三好ヴァイセアドラー、(5、6日)、ジェイテクトSTINGS(12、13日)、JTサンダース広島(19、20日)、VC長野トライデンツ(26、27日)と続きます。



(3) ラグビー<ワイルドナイツ>

強化試合が始まっています。尚、リーグワンは12月17日(土)に開幕します。

10月21日(金) 対 三菱重工相模原ダイナボアーズ 54 — 31 ○

11月04日(金) 対 クイーンズランドレッズ(国際親善試合)

多くの選手が中心メンバーとして参加している日本代表の結果、予定は以下の通りです。

10月01日(土) 対 オーストラリアA 22 — 34 ●

10月08日(土) 対 オーストラリアA 21 — 22 ●

10月14日(金) 対 オーストラリアA 52 — 48 ○

10月29日(土) 対 オールブラックス

尚、11月には欧州遠征が予定されております。



(4) アメリカンフットボール<インパルス>

2022年X1 Super 秋季リーグ戦が、行われています。

10月9日(日) 対 アサヒビール 68 — 0 ○

10月22日(土) 対 オール三菱 73 — 0 ○

現在全勝で、ライスボールトーナメント出場が決定しました。最終戦はIBM戦です。



(5) 女子陸上<エンジェルス>

「クイーンズ駅伝」の出場権をかけた「プリンセス駅伝」が10月23日に開催され、見事逆転で優勝しました。「クイーンズ駅伝」(第42回全日本実業団対抗女子駅伝)は、11月27日に開催されます。



(担当 浅尾幹事)

◇高齢者医療制度が改定されました

令和4年10月1日から、医療機関等の窓口で支払う医療費の自己負担割合が、現行の「1割」または「3割」に、新たに「2割」が追加され、「1割」「2割」「3割」の3区分となりました。一定以上所得のある方は、現役並み所得者(自己負担3割の方)を除き、自己負担割合が「2割」になります。令和4年度以降、団塊の世代が75歳以上となり始め、医療費の増大が見込まれています。また、後期高齢者の医療費のうち、自己負担を除いて約4割は現役世代(子や孫)の負担(支援金)となっており、今後も拡大していく見通しとなっています。今回の窓口負担割合の見直しは、現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来につないでいくためのものです。自己負担割合が2割となる方については急激な自己負担額の増加をおさえるため、配慮措置があります。

尚、制度改定の詳細については、厚労省ホームページを参照してください。

(改定内容)

令和4年9月30日まで		令和4年10月1日から	
区分	自己負担割合	区分	自己負担割合
現役並み所得者 [※]	3割	現役並み所得者 [※]	3割
一般所得者	1割	一定以上の所得のある方	2割
		一般所得者	1割

※現役並み所得者(3割負担)の条件は変わりません。

— 6 —

◇今月度 金婚(50周年)お祝いのご紹介

・田野 哲男さん ・芝崎 一雄さん ・田原 基司さん
おめでとうございます。これからも仲良くお幸せに！

☆金婚(50周年)お祝いを受けられた会員からのお便りを紹介します

今月度金婚のお祝いを受けられた方からお便りを頂きましたのでご紹介します。

《田原基司ご夫妻からのお便り》

2016年12月、脳出血で生死をさまよった時、もう良いかなあと思いましたが、妻が『私の為に頑張って生きて』と励ましてくれ、今に至っています。大きな後遺症が残り、日々妻に世話になっており、また、年に1~2回入院することもあります。心まで病気に為らぬよう常に笑顔心を心がけている今日この頃です。

此処に、私共の過ごして来た50年の歳月を洋友会の皆様に祝って頂き、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

(担当 山口幹事)

◇今月度プルタブ収集者のご紹介

・北灰塚自治会(守屋寿文様) ・増田桂子様 ・茂谷 博様
有難うございました。引き続きご協力よろしくお願いたします。

☆会員の皆様へのお知らせ

いつも会員の皆様にはプルタブ収集活動にご協力いただき大変ありがとうございます。プルタブ収集についてお知らせがあります。最近、各ビール会社から「生ジョッキ缶」が発売されておりますが、このプルタブについては、通常缶ビールに比べ上蓋が大きくなっております。本部に確認したところプルタブ収集活動については通常の缶ビールのプルタブのみとなっているとのことです。ご注意お願いたします。

(担当 平野幹事)

◇2023年度洋友会大東地区年間活動スケジュールについて

コロナ感染の拡大が断続的に続く状況の中、2022年行事・クラブ活動は中止・一時中止を余儀なくされました。最近のコロナ感染の落ち着きが来年も続くことを願っております。別添で2023年度の年間活動スケジュールを配布させていただきます。来年はウィズコロナでの行事として歩こう会とバス旅行を一体化したような「日帰りイベント」を企画しています。詳細は順次案内しますのでご期待ください。コロナ状況によりスケジュール表に変更など生じた場合はその都度地区日より、HP等でお知らせさせていただきます。

◇在籍会員数

会員総数 459名（2022年10月25日現在）

◇編集後記

今年もあと2か月となりました。コロナ禍での洋友会活動となって3年となります。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけし満足いくサポートができない状況が続いておりますが申し訳なく思っております。この間、ウィズコロナでの活動の在り方を検討してきましたが、ここにきてコロナ感染が少し落ち着きましたので徐々に活動を再開することにしました。しかし、基本的な感染対策（3密防止、屋内でのマスク着用、大人数での飲食を控えるなど）は今後も十分守りながら活動を進めていきますのでまだしばらくの間、今まで通りの活動とはなりませんがお許しいただきたいと思っております。会員の皆様も体調管理には気を付けていただきますようお願いいたします。

（Y・N記）

新型コロナとインフルエンザの同時流行にご注意！

新型コロナウイルスは夏以降、減少傾向が続き、水際対策が緩和されました。このような状況の中、専門家が懸念しているのが、新型コロナとインフルエンザの同時流行の可能性です。新型コロナが出現してから過去2シーズン、同時流行はありませんでしたが、今年は何が違うのでしょうか？

どのような事態が想定されるのか、そして、どう対応すれば良いのでしょうか？政府が示した考え方などをご紹介します。

◆新型コロナとインフルエンザ“流行の可能性 極めて高い”

「10月から来年3月にかけて新型コロナとインフルエンザの流行が発生する可能性は極めて高い」とする文書を新型コロナの対策に当たってきた専門家が連名で、10月5日に厚生労働省の専門家会合に提出しました。これを受ける形で、専門家会合は「秋以降、インフルエンザが例年よりも早く流行し、新型コロナとの同時流行になることが懸念され、こうした事態を想定した対応が必要だ」と指摘しました。

◆過去2年なかったインフルエンザの流行

新型コロナの感染が始まる前は毎年冬にインフルエンザが流行していました。1つのシーズンで1000万人、多い年には2000万人が感染したと推計されています。新型コロナの出現以降、インフルエンザ患者は激減し、国立感染症研究所の推計によると2020年から21年はおよそ1万4000人、2021年から22年はおよそ3000人でした。インフルエンザは、東南アジアやアフリカなどの地域では1年を通して感染が広がっており、それが国際的な人の移動で各国に流れ、ウイルスが広がる環境がしやすい冬の時期に大規模な流行を起こすと考えられてきました。

それが、コロナ対策で国際的な人の行き来が制限されたり、人と人との接触が少なくなったりした影響で、インフルエンザの流行も起きなかったとみられています。

◆同時流行下で発熱 私たちはどう対応？

では、もし新型コロナとインフルエンザが同時流行する事態になり、症状が出た場合、私たちはどう対応すればよいのでしょうか。政府は10月13日、発熱など体調不良の時にどう受診すればよいか、考え方を示しました。

【重症化リスクがある人の場合】

小学生以下の子どもや妊婦、基礎疾患のある人や高齢者といった重症化リスクのある人は、速やかに発熱外来やかかりつけ医を受診します。受診した医療機関で新型コロナウイルスとインフルエンザの検査を受け、診断に応じて、治療薬の処方を受けるなどの対応をする。

【重症化リスクが低い人の場合】

若い世代など重症化リスクが低い人は、自宅などで抗原検査キットを使って新型コロナに感染しているか確認します。陰性の場合は電話やオンライン診療、かかりつけ医などを通じてインフルエンザかどうか診断を受け、必要に応じて抗インフルエンザ薬の処方を受けます。陽性の場合は健康フォローアップセンターを通じて登録し、自宅療養となります。ただ、症状が重いと感じるなど受診を希望する場合には、発熱外来やかかりつけ医を受診するとしています。

◆最後に

新型コロナもインフルエンザも呼吸器の感染症で感染経路は似ており、取るべき対策は大きく変わりがなく、以下のような対策が基本になるとされています。

▽発熱などの症状がある場合は学校や仕事には行かず、ほかの人との接触を極力避ける。休養が重要。

▽手指の消毒、屋内で人と近い距離で会話する場面などではマスクを着用する。飲食店などでは換気を徹底する。

同時流行した場合の感染の規模を小さくする意味でも、こうした基本的な対策を常に心がけて行動しましょう。